

- 1 単元名 久山町の未来を担う人財になろう
- 2 指導の構想

**【何ができるようになるか】(単元の目標)**

「自分を高める」

- ・これまでの生活を振り返り、自ら判断してよりよい取り組みを決め、責任をもって実行する。(自分で決める力)
- ・意見を出し合う中で、自分のよさを発見し、それを伸ばそうと努力する。(自分を発揮する力)
- ・取組の中で、困難や失敗を経験しても、挑戦することから逃げずに努力する。(やり抜く力)

「人とよりよく関わる」

- ・仲間と力を合わせながら、さまざまな見方や考え方があることを知り、相手から謙虚に学ぶ。(多様性の尊重)

**【何を学ぶか】(教材の価値)**

(探究課題)

SGGs「Sustainable GRIT Goals (持続可能な学級にするために、卒業までにやり抜く3つの目標と、それを達成するための取り組み)」を計画し、実践する。

本単元は、これまでの学校生活を振り返り、生徒の興味関心に基づく探究課題を取り上げ、その解決のための取り組みを考え、実践する。主な学習内容は、「自分を高める力」「人とよりよく関わる力」、「持続可能な学級」の意義などがある。これらを学ぶことは、主体的に伸びようとする行動を喚起することができるため、大変意義深い。

**【実施するためには何が必要か】(人・もの)**

- ・SGGsの原案、プレゼンテーション
- ・朝の挨拶運動、道徳の日の様子

**【道徳との関連】**

A-(4)克己と強い意志「スポーツの力」

**【どのようにして学ぶか】**

総合の単元の流れ [単元計画 (5時間)]

(1) 目標をもつ (1時間)

まず、SGGsの提案内容を捉え、「あいさつ、返事」「学習」「環境」の3つの取組の案について意見を出し、SGGsの原案を作成する。ここでは、探究課題を捉えるために、目的、協働性、実現可能性について話し合う。

(2) 実践する (3時間) 【本時含む】

次に、SGGsの意義を捉えるために、「自分を高める力」「人とよりよく関わる力」、「持続可能な学級」の意義は何か話し合う。さらに、上手くいかないところを修正するために、学期始め、学期末に課題を確認し、共有する。

(3) 振り返る (1時間)

最後に、取り組みを振り返り、久山町を担う人材とはどうあるべきかを探る。ここでは、取り組みを通しての成長を振り返り、主体的に伸びようとする行動をする上で大切なことは何か捉える。

**【生徒の実態】**

本学級の生徒は、第1学年9月に、「仲間と励まし合い、協調性・社会性・自立心を身につけよう～宿泊体験学習～」において、また第2学年12月に、「日本の文化に触れ、自己の将来の展望をもとう～修学旅行～」において、よりよい集団生活を送る方法を学んでいる。また生徒会や部活動生徒を中心に朝の挨拶運動に取り組み、2学期までの参加者は通算で1275人になった。

第3学年9月に行ったアンケートでは、これまで、生徒会、部活動、学級等で朝の挨拶運動に参加したことがある生徒は90%を超えたが「意義を理解して参加しているか」と問うと、20%の生徒が回答するに留まり、意義を理解した上で参加している生徒が少ないことが分かった。

### 3 本時

#### (1) 目 標

- あいさつの意義を「自分」「他者」「持続可能」の視点から考えることを通して、SGGs「Sustainable GRIT Goals (持続可能な学級にするために、卒業までにやり抜く3つの目標と、それを達成するための取り組み)」の意義を表現することができる。

#### (2) 準 備

- ①取り組みの案      ②学習プリント      ③SGGsのプレゼンテーション動画

#### (3) 展 開

過程	学習活動・内容	指導の手立て (○) と評価 (◇)
導 入  10 分	1 SGGsの見直しの必要性を捉え、方向付けをする。 ・SGGsの課題	○ SGGsについて、目的や進行状況を確認させるために、プレゼンテーション動画を視聴させる。 ○ SGGsの見直しの必要性に気づかせるために、挨拶の取組を例にあげ、これまでの取組との違いを考えさせる。その際、地域の方のインタビュー結果を提示する。
	(めあて) SGGsの意義 (言葉が現実にもつ価値) を考えよう。	
展 開  35 分	2 SGGsの目的について話し合う。 (1) 挨拶の取り組みをやり抜くことでどのような変化があるのか、ペアで交流する。 ・「自分を高める力」を伸ばす (自分) ・「人とよりよく関わる力」を伸ばす (他者)  (2) グループで交流する。 ・挨拶の意義  3 SGGsの意義を確認する。 ・「持続可能な学級 (人間関係)」の意義	○ 挨拶の価値が声の大きさだけではないことに気づかせるために、TTP (挨拶の精度を上げる取り組み) で声は大きくなっているが、拍手が小さかった理由を問う。 ○ 朝の挨拶運動に参加している心情に気づかせるために、挨拶を頑張る理由の内訳の資料を提示する。 ○ 挨拶を頑張る心情と挨拶が他者に与える影響の違いがあることに気づかせるために、挨拶をされた人の心情の内訳の資料を提示する。 ○ 道徳の日には、小学生、地域の方も挨拶運動に参加していることを想起させるために、なぜ挨拶が大切と様々な場面で言われるのか、挨拶を頑張っているのはどんな人かを問う。
終 末  5 分	4 SGGsの意義について記述し、振り返りを行う。 ・SGGsの意義	○ SGGsの取り組みを見直させるために、SGGsの意義を書かせる。 ◇ SGGsは生きていく上で大切な力をつけるための目標、取組であると書き表すことができたか。  〈学習プリント分析〉